

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0500
施設名	赤ちゃんの家保育園
施設所在地	町田市原町田 6 - 2 7 - 1 0
法人名	社会福祉法人愛育会

1. 活動のテーマ

あじさい組 4歳児

<テーマ>

【絵本の世界を楽しもう】

<テーマの設定理由>

日々の遊びの中で子ども達は簡単な手作り絵本を楽しんだり物語の世界を自分達で再現したり自分なりにイメージを広げて表現する様子を感じられた。また、色々な素材を使って自分だけの絵本を作ることや友達と一緒に1冊の絵本を作る経験を通して楽しさや達成感を味わってほしいと考えた。こうした活動を通して、絵本の世界をより身近に感じ、想像力や表現する楽しさを育んでいきたいと考え本テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

9月～12月：絵本に親しみ、物語の世界を楽しむ。ごっこ遊びや表現遊びにつなげながら季節の作品や仕掛けのあるページ作りにも取り組む。
1月～2月：お気に入りの絵本をもとに遊びを広げ、登場人物になりきったり友達との関わりや言葉のやる取りを深める
3月：これまでの活動を振り返り思い出や好きな場面を表現する。お別れ会で歌う「みんなともだち」を題材に共同で絵本を製作する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

落ち葉・絵具・様々な型のクラフトパンチ・画用紙・折り紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

秋の自然物である落ち葉を使いなど、ステンシル遊びや制作活動を行った。
おにぎりイメージした製作や葉を貼って模様を作る活動を取り入れた。
また、ハロウィンやクリスマス素材にした製作も行い、切込みを入れて立体的にしたり紙に自由に配置して構成を楽しめるようにした。自分の本のタイトルをつけて完成させる。共同でも一冊の本を製作し、お別れ会で発表した。
欠席した子どもについては後日製作できるように対応した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子ども達は好きな形や大きさの葉を選びながら思い思いにステンシル遊びや製作に取り組んでいた。絵本や身近な発想を広げ、「パーティーのメニューみたい」「落ち葉がお風呂みたい」など見立て遊びを楽しむ姿が見られた。同じ素材を使っても一人ひとり異なる表現が見られ保育士は子どもの発想や表現を受け止めながら関わった。

絵本製作が楽しめるように絵本を読んだ後に内容を一緒に思い出しながらイメージが広がるように関わった。

みんなの前で絵本を披露して読むことで「見てもらえた」「読めた」という嬉しさや自信につながり友だちと楽しさを共有する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本をもとに製作活動へつなげる中で子どもたちはページをめくりながら内容を振り返り自分なりのイメージを膨らませていた。絵本を参考にしつつも、色使いや形など自分で考え同じ題材でも一人ひとり異なる表現が見られた。また自由遊びの製作では、迷路や好きなキャラクターなど自分の興味や発想を取り入れながら楽しむ姿が見られた。これからも自由に表現できるよう、子ども達の発想や「やってみたい」という気持ちを大切にしながら紙や画材だけでなく廃材や自然物など様々な素材に触れられる環境を整えていきたい。また素材の違いや組み合わせを楽しみながら自分なりのイメージを形にしていく経験につなげていきたい。